

「地域とともにある学校づくり」の質の向上に向けて【ポイント】

令和2年3月

1. 学校運営協議会の開催回数・内容

【年間4～6回】→

目標協働達成チーム会議

同時(臨時):作業(専門)部会の開催

年間活動計画(例)

－ 年間4回の学校運営協議会開催のケース－

- 4～5月
 - 1. 教育委員会より委嘱状
 - 2. 学校運営協議会より
 - 3. 学校より
 - 4. 学校評価の4点セット 等
- 8月
 - 1. 1学期の教育活動・学校関係者評価
 - 2. 今後の計画の確認
- 12月
 - 1. 授業参観
 - 2. 2学期の教育活動
 - 3. 事業の進捗の確認
- 2～3月
 - 1. 授業参観
 - 2. 学校関係者評価
 - 3. 次年度の学校経営方針の確認
育成を目指す子ども像共有

熟議

多くの当事者が「熟慮」と「議論」をかさねながら課題解決を目指す対話

※学校が、地域の中においてどのような場所や存在となる必要があるのか協議
例:空き教室を利用した
高齢者の集まる場所の設定 等
→ 学校の壁、敷居を低くする環境とは

→ 従前のような、学校評価の4点セットや学校教育目標等を学校運営委員会の構成員に示す・提案するという活動だけでは、質の高まりはない。

POINT

- 学期末毎に「学校評価の4点セット」や「各種マネジメントツール(特に学力向上プラン)」の家庭や学校の取組内容に関する検証改善・PDCAの実施
→ 地域や家庭の代表が自ら検証改善を実施、当事者意識の向上
- 学校毎に目標協働達成チーム会議や作業(専門)部会を開催
- カリキュラムマネジメントの充実
→ 地域の力を活用した単元構成の構築・反映
→ 目標協働達成活動(地域学校協働活動)、学校支援活動の充実

2. 学校運営協議会の組織

POINT

- 学校:地域連携担当職員の配置
→ 教頭・主幹教諭・教務主任(地域との窓口)
- 学校運営協議会:目標協働達成活動に作業(専門)部会の位置づけ
→ 作業(専門)部会の設置及び実働
→ PTA活動や地域行事との連動
→ 学校運営協議会や作業部会に「協育」コーディネーターの参加
→ 作業部会と「協育」ネットワーク活動(学校支援機能)の融合

3. 「学校評価の4点セット」の記載内容

POINT

- 取組指標・重点的取組・達成指標・重点目標との一貫性
- 取組指標の具体化と地域・家庭の主体性
 - より主体的に学校の教育活動に参画する体制や内容となっているか

4. 家庭・地域の学校支援等の活動内容（以下活動内容掲載）

POINT

- 「各教科のGTや学習支援」
 - 「生活科や総合的な学習の時間、郷土学のGT」
 - 「各教科のGTや学習支援」「授業やスキルタイムの丸付け」
 - 「放課後学習、土曜教室等への関わり」
 - 学力向上・授業改善等に関する学習支援、学びに向かう力等の向上
- 学校行事への参加や参観
 - 学びに向かう力の向上、健やかな心身の発達
- 登下校時や校外活動、課外活動の見守り
 - 安全確保、健やかな心身の発達
- 地域行事（活動）での児童生徒の参加と地域との関わり
 - よりよい地域とのコミュニティーの構築、地域の活性化、健やかな心身の発達
- 学習習慣や生活習慣を身につけさせる
 - 学力向上、学びに向かう力の向上、健やかな心身の発達